

# 皮膚病のはなし

平成25年

2月16日

開演 13:00 閉演 17:00

場所 市立御前崎総合病院 2階講堂 (御前崎市池新田2060)

● 事前開催 13:15~14:15

専門職による医療・介護相談

健康チェック（血圧測定・肺活量測定・握力・柔軟テスト等）

● 開会の挨拶 14:30~14:35

御前崎市 石原 茂雄 市長  
総合司会 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生

● 一般講演 「あなたの塗り薬は？」

14:35~15:05

座長 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生  
演者 市立御前崎総合病院 皮膚科 科長 飯田 晴康 先生

休憩 10分

● 特別講演 「高齢者の皮膚病」

15:15~16:15

座長 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生  
演者 浜松医科大学 皮膚科学講座 教授 戸倉 新樹 先生

● 総合討論 16:15~16:30

司会 市立御前崎総合病院 病院長 大橋 弘幸 先生

● 閉会の挨拶 16:30

駐車場に限りがありますので乗り合わせの上お越し下さい。

お問合せ ※事前の申込は不要です。

全席自由 入場無料

市立御前崎総合病院 TEL 0537-86-8511  
ノバルティスファーマ(株) TEL 053-457-0521

主催：御前崎市・小笠医師会・ノバルティスファーマ(株)

後援：静岡新聞社・静岡放送・中日新聞東海本社・朝日新聞静岡総局

読売新聞静岡支局・毎日新聞浜松支局・郷土新聞社・御前崎ケーブルテレビ (順不同)



## 第12回 御前崎市民公開講座「皮膚病のはなし」

今回の御前崎市民公開講座は、皮膚病のはなしを取り上げました。皮膚病の中でみなさんがよく耳にする病気は、水虫（白癬症）、アトピー性皮膚炎、湿疹などと思います。特に水虫は、多くの方が梅雨時から夏場に悩まされていると思います。夏場には水虫は痒くなり、この期間だけは軟膏を一生懸命塗ると、秋口には自然に症状がおさまり、放置することになります。その後また梅雨時に痒くなり、水虫が出てくることになります。「なかなか治らない、薬が効かない」と考えている人が多いと思います。実は私達は軟膏を痒いときだけ塗っているので、水虫が治っていないのに治療を中止してしまうため「難治」となっているのです。このように私たちには皮膚の病気に対する誤解も多く、今回の講演で少しでも皮膚病のことを理解できるようになれば幸いと思います。今回の市民公開講座にご期待ください。

私は、昭和56年に浜松医科大学を卒業して、内科の研修医になりました。この卒業前の学生時代に、免疫学にとても興味があり、免疫に関連した病気を診療したい、出来れば研究したいと考えていました。このとき浜松医科大学の皮膚科は素晴らしい研究と診療をしており、入局したいと考えましたが、その前に全身を診る事が出来る内科を研修すべきだと思って、免疫内科を選択しました。免疫内科にて膠原病やリウマチ性疾患患者を診療していると、全身的な病気のあらわれが皮膚に出現することが数限りなくあります。それは、紅斑（赤い斑点）、紫斑（紫色の斑点）や潰瘍など様々な形態をとります。このような皮疹が出現すると、皮膚科の専門医に診療していただきます。そうすると皮疹を診ただけで的確な診断をしてくださいます。また、確かめる意味で皮膚生検（皮膚の一部を採取し組織をみる検査）を施行して診断を確定していただきます。私たちの診療している病気は、皮膚科の先生の助けがなくては診断治療が出来ません。皮膚は、全身の病的な状態の窓であると思います。体の状態の良い悪いは、皮膚の状態に表れます。毎日、皮膚の状態をみれば健康状態も分かると思います。従って、皮膚の病変は患者さんを診療する上でとても大事であると考えています。

以上私的なことを話してきましたが、この地域、いや日本中が急速に高齢化し年寄りの病（がん、認知症、誤嚥性肺炎、脳血管障害、循環器系疾患）が急増する中で、皮膚の病気も大きく変化してきていると思います。皮膚の老化のために皮膚がん、皮膚萎縮、皮膚搔痒症などが増加しているのではないかと思います。現在の医療の大きな問題点は、高齢者への医療のあり方であると思いますが、皮膚科も例外ではなく、高齢者への対応が大事になってきていると思います。こういった状況の中で、今回の「皮膚病のはなし」は高齢者の皮膚を取り上げ、タイムリーな企画だと思います。どうぞ奮って来場ください。

市立御前崎総合病院  
病院長 大橋 弘幸